

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 3 年 8 月 1 日

設置・運営主体	社会福祉法人 埼玉県社会福祉事業団		
設置主体	社会福祉法人 埼玉県社会福祉事業団		
経営主体	社会福祉法人 埼玉県社会福祉事業団		
事業所名 (施設名)	あさか向陽園	種別	障害者支援施設（生活介護・施設入所支援・就労継続支援B型、短期入所）
所在地	〒 351-0016 埼玉県朝霞市青葉台1-10-60		
電 話	048-466-1411		
FAX	048-467-4127		
Email	<a href="mailto:asakakouyouen@sswc-gr.jp">asakakouyouen@sswc-gr.jp</a>		
URL	<a href="http://sswc-gr.jp/asaka/">http://sswc-gr.jp/asaka/</a>		
施設長氏名	園長 近藤敦		
調査対応担当者	篠本晃広 (所属、職名：副園長兼庶務担当主査)		
利用定員	80 名	開設年	昭和 58 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>◎経営理念「埼玉県社会福祉事業団は、利用者、職員、地域社会がお互いに支え合い共に歩む施設を目指し、地域福祉に貢献します。」</p> <p>◎経営方針</p> <p>1 (県の福祉を支えるセーフティーネット) 利用者に安心・安全で快適な生活環境を提供するとともに、手厚い支援を要する利用者を受入れ本件福祉のセーフティーネットの役割を果たします。</p> <p>2 (地域との共生) 地域共生社会の実現に向け、地域の福祉課題に積極的に対応するとともに、地域に開かれた施設運営を行います。</p> <p>3 (先駆的取組の推進) 国や県の福祉施策の動向を踏まえ、民間施設をリードする取組を行い、本件福祉の向上に貢献します。</p> <p>4 (人材の確保育成) 「元気・優気・根気」を旨とする愛情と高い倫理性、専門性を有する人材の確保育成に努めます。</p> <p>5 (安定的な経営基盤と透明性の確保) 効果的・効率的な施設経営と継続的な改善により経営基盤の安定化を図るとともに、情報公開による透明性の確保に努めます。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	8:45~17:00 (月~金、及び第1、第3土曜。年末年始、祝日を除く。)		

## 【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
0名	0名	2名	4名	3名	5名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
5名	7名	7名	12名	10名	15名
					合計
					70名

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	20名	19名	8名	5名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	1名	1名	名	名	名	名	名
合計	21名	20名	8名	5名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
5名	12名	7名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	3名	名	名
そううつ病	名	1名	1名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	2名	名
合計	3名	3名	1名

○サービス利用期間の状況（保育所を除く）

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
1名	4名	5名	2名	1名	1名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
1名	4名	6名	3名	3名	5名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
3名	1名	3名	5名	1名	3名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上	合計	
2名	0名	0名	16名		

（平均利用期間：入所14.5年、通所10.9年）

【職員の状況に関する事項】

○成人施設の場合

	総数	施設長	事務員	主査（支援員）	主任（支援員）
常勤	18名	1名	3名	2名	3名
非常勤	18名	名	1名	名	名
	支援員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	7名	名	名	1名	名
非常勤	15名	名	名	名	名
	管理栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	1名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	2名

社会福祉士	3名（名）
介護福祉士	7名（2名）
保育士	5名（名）
精神保健福祉士	2名（名）
	名（名）

（非常勤職員の有資格者数は（ ）に記入）

【本来事業に併設して行っている事業】

（保育所を除く）

（例）救護施設における通所事業（定員5名） 短期入所（定員6名）、埼玉県あさか向陽園障害者歯科診療所（県指定管理施設）
----------------------------------------------------------------

**【ボランティア等の受け入れに関する事項】**

・令和 2 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

777 人

---

・ボランティアの業務

利用者の作業補助、行事開催時の補助・手伝い、植栽、環境美化、レクリエーション提供など

**【実習生の受け入れ】**

・令和 2 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 38 人（保育士、歯科衛生士、介護等体験等）

**【施設の状況に関する事項】**

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	3,658 m <sup>2</sup>		
	入所(通所)者 1 人あたり	45.7 m <sup>2</sup> (延べ床面積÷定員80人)	
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	0	室
	2 人部屋	23	室      うち3室は短期入所用
	3 人部屋	0	室
	4 人部屋	0	室
	5 人以上の部屋	0	室
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(4) 建築(含大改築)年	昭和	58 年	
(5) 主な設備	居室、静養室、医務室、食堂、トイレ、汚物処理室、洗面洗濯室、談話室、作業室、浴室(男女)、理髪室、相談室、多目的室1~3、図書室、厨房、機械室、電気室、自家発電機室、事務室		

### 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・利用者満足調査（アンケート形式 年1回）、利用者との話し合い（年2回）、給食保健衛生委員会（年4回）、向陽祭実行委員会（5月～11月）、意見箱の設置（2か所）、ヒヤリハットによる利用者意見に対する取組み等

### 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

・旧法身体障害者授産施設として開設されて以降、39年目を迎えている。利用者の重度高齢化が進むとともに、施設設備の老朽化が顕著となっているが、必要な修繕や支援における工夫を行い運営を行っている。平成24年度に新体系における障害者支援施設に移行となってからも、授産施設の時代から引き継いだ生産活動の運営体制を、利用者と職員が協働することで地域との繋がりを維持してきた。法人として県立の障害者歯科診療所を併設するとともに、県の出資法人が運営する障害者施設として、地域における福祉に貢献できるよう、各関係機関との連携、ボランティアや地域住民との交流など、開かれた施設づくりを念頭に置いた運営に努めている。特に市内の福祉避難所の開設訓練等には市役所とタイアップして地域の福祉施設間の連携を図る取り組みを行ってきた。都市部にある立地条件により、社会資源が充実している圏域であることを生かしつつ、近隣施設や地元町内会との連携を大切にし、防災協定に基づいた合同防災訓練の実施や、施設内研修（AED講習など）への呼びかけなどを行っている。

### 【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

1 回 （平成30年度）